

解決すべき課題と狙い、対策のコンセプト

■解決すべき課題

葛塚地域の地域別実行計画では、次の課題の解決を目指して、様々な取り組みを進めます。

- 将来世代の財政負担を軽減していくことと、地域に必要な公共サービスを維持・改善していくことを両立していくためには、公共施設の整備と運営をどう効率化していくべきか？
- 使われなくなった庁舎、廃校となる小学校など、施設の役割の変化に対して、その施設を具体的にどう活用していけばよいか？
- “子育てをしやすい環境づくり”だけでなく、“この地域で子どもを産み、育てよう”と思える環境づくりはどうすれば実現するか？
- にぎわい創出や多世代の交流の場（若者・高齢者・障がい者）づくりなど、地域が一体となって活性化して行くために公共施設にどのような役割をもたせていくべきか？
- 地域の避難所機能をどう維持していくか？また、利便性を現状よりも向上させるためにはどのようなことに配慮したら良いか？

■課題解決の狙い

公共施設の課題を解決することで、次の7つの点を達成することを狙いとします。

【課題】



【参考】課題解決のための諸方策

課題解決のための対策案を検討するために、下表のような諸々の方策を検討しました。対策案の検討において、これらの方策を組み合わせで用います。

| 課題解決の狙い | 課題解決の諸方策と施設配置の方向性（アイデア） | 期待する効果 |
|--------------------------------------------------|-------------------------------|----------------------------------------------------|
| ①過度な財政負担が 将来世代に残らない | 複合化・多機能化などで規模（面積）を減らす | 維持管理コストが減る 維持管理更新の財源捻出 雇用創出 |
| | 利用料などで収入を確保する,コストを削減する | |
| | 商業施設を誘致して収入を得る | |
| | 使われていない空間を共有して稼働を高める | |
| | 統合や移転の結果空いた土地や建物を売却・貸付する・・・ | |
| ②空いた土地や既存の 建物の有効利用、利用率 を高める工夫、利便性向 上を図る | 空いた建物に不足している機能を誘致する | 建物有効利用が図れる 使い勝手の向上 売却の収入や賃借料が 得られる |
| | 複合化によるワンストップサービスを実現する | |
| | 統合や移転の結果空いた土地や建物を売却・貸付する | |
| | より利便性が高いところへ移転する | |
| | 新規整備に際し、現代のニーズに合った機能を設ける | |
| | アクセス性の向上（交通利便性の向上） | |
| | 民間活力の導入をはかる・・・ | |
| ③子育ての環境を整え 地域の魅力を高める | 子育て支援機能など現在のニーズに合った機能を設ける | 子育て世代の人口増加を図る 子育てを地域でサポート 多世代交流が生まれる |
| | 子どもの居場所を確保する | |
| | 多世代交流や地域ぐるみで子育てを支援する機能を設ける・・・ | |
| ④若者・高齢者・障がい 者の居場所を つくり地域を活性化 させる | 若者や学生が集まれる、学べる場所を設ける | 若者の居場所がある 若者の人口流出を防ぐ 誰もが気軽に集えるスペース が設けられる |
| | 多世代交流が図れる機能を設ける | |
| | サテライトキャンパスで若者を呼び込む | |
| | 高齢者・障がい者が集えるスペースを設ける・・・ | |
| ⑤地域のまとまり 一体感を形成する | 地域の人々が集まる拠点施設を新設する | 市街地の活性化 にぎわいの創出 |
| | 施設の配置を集積させ、地域の中心部をつくる | |
| | 各コミュニティ単位で気軽に使える機能を設ける | |
| | これまで施設がなかった地区に施設を設ける・・・ | |
| ⑥災害に強く 安全な地域を つくる | 避難所機能を適切に確保する・・・ | 安心・安全な地域をつくる |
| ⑦アクセスしやすい公 共施設配置とする | 公共交通網を整備する | 利用しやすい施設をつくる 利用者数・利用率の向上 |
| | 近距離で身近に通える施設をつくる | |
| | 1つの施設で複数の目的が達成できる施設をつくる・・・ | |

【参考】 諸方策を組み合わせるイメージ

